

正覚寺だより

スジャー夕

56

平成26年(2014)

6月20日発行

〔スジャー夕とは、6年間の苦行に疲れたお釈迦様に牛乳で作ったお粥を供養したインドの女性の名前である〕

法然共生

知恩院参拝のご案内

お盆の行事



境内に咲いた牡丹

〔住職のつぶやき〕

散るときは 散るが花

— 色々な生き方があって良い —



[住職のつぶやき]

散るときは 散るが花

— 色々な生き方があって良い —

住職 / 山縣 正紀



(1)

サラリーマンの方と違って自営業の者には、定期的な健康診断はない。住職もそうである。放っておけば何年も検診をせずに過ごすことになる。

それはまずいだらうと、40歳になった年から年に一度、自主的に検診を受けるようにした。血液検査から始まって、頭部CT、胸部レントゲン、胃カメラ、心電図、エコー、検便、尿検査など一通り行ってきた。

有り難いことに、検査結果に一度も異常は無く20年余り無事に過ごしてきた。もちろん体調不良のこと、骨折など外科的なトラブルは何度もあったが大したことではない。私の不注意が原因である。

ご先祖から頂いたこの肉体が元々とても健康であることは、何物にも代えがたい私の大きな財産であり全てのことに感謝している。

(2)

だが20年余り欠かさず続けてきた年に一度の健康診断も、これからはもう程々で良いと感じている。今の私にはもうその必要が無くなった。

○生物として、種の保存という役目が終わったこと（笑）

○その子育ても一応終わったこと
（末っ子も社会人になったので）

○住職として、後継者のめどがつきそうなこと（スタートしたばかりですが）
つまり、仮に健康を損ねて命を落とすことがあったとしても、一応の役目は果たした事で悔いは無い。

親が亡くなれば子供達は苦勞するだろうが、かえって育つという面も有るので、そうなればそれも良いと思っている。

ただ子育てが終わったとは言え、知的障害を持って生まれ作業所に通っている娘には生活全般にわたり家族の介助が必要である。

後継者のめどがつきそうである。とは言え現在まだまだ修行中で伝えなければならぬ事が沢山ある。

教化活動やボランティア、社会的な務めやひと様のお世話など益々しなくてはならない。

だからこれからも不摂生はせず、与えられた命を大切に精一杯の精進はしていくつもりだ。

(3)

「今まで通りの生活習慣で大丈夫だろう」という思いはある。しかし、誰しも老化は止められないので、今の健康状態が今後も続くとは思っていない。

60歳も過ぎれば身体に不調があって当たり前で、それを受け入れて寄り添ってゆくこと、

「生老病死」

つまり、

「この世に生まれたものは、やがて老いてゆき、病気の中に死す」

という誰も避けられない〈真理・まことの道理〉を受け入れるべきで、青年期と同じような完璧な体調を求めるのは無理である。

だから、やたら検査をして病気を探す必要も無いと思う。精密検査をすればどこかに異常は見つかるだろう。

検査をすること自体が身体へダメージを与える事もあると感じる。痛みなどの自覚症状が出れば受診して治療すれば回復する。

そんな事を言っていたら、「手遅れになって治る病気も治らないぞ」と言われそうだ。確かにそうである。

また、年上の方々からは、「60そこそこの若造が生意気を言うな」とお叱りを受けるかも知れないが、「自覚症状がないまま進行するのは病気ではなく、身体が静かに終焉しゅうえんを迎えようとしている」と考えたらどうだろうか。

(4)

医学、医療技術の益々の発展が期

待される昨今の状況は素晴らしい。しかし幾ら時代が移っても、「永遠の不老長寿は無い」のである。

若年層、青年期の方々とは別だが、還暦も過ぎた私は、病気と壮絶に闘い激しい苦悩の中で多少の延命を得るよりも、

「生老病死」

を受け入れて穏やかな臨終を選ぼうと思う。

長寿は尊いが、今日いかに生きるかが更に大切である。

「散るときは 散るが花」

そんな生き方もある。

(5)

我々念仏を称える者は西方極樂浄土さいほうごくらくじょうど。つまり、

「西にある樂の極みの清浄しょうじょうなところ」

「夕日のむこうの夢の国」

へ、

「必ず往いってそこに生まれる」

つまり

「往生おうじょう」

する。先に往った方々とも再会し、そこで仏となって現世の縁ある人達を見守り、そして導いていく。

そんな信仰があれば、なんの心配もない。





お盆の行事



お盆をむかえる

たな ぎょう ほう よう
棚経法要

7月13日(日)

■ 朝9時から11時まで

- それぞれのご家庭で作られた精霊棚しょうりゅう だなに僧侶がお参りするのを棚経といいます。
- 正覚寺でもかつては、檀家さんの家々へ一軒ずつお参りしていましたが、社会環境、家庭環境などの変化により、現在のような正覚寺へお参りして頂く棚経法要の形式になりました。
- 法要当日にお渡しする「棚経回向之證」を仏壇にお祀りしてお盆を迎えて下さい。

昨年の回向之證はどうする？

- 昨年の「棚経回向之證」がまだ仏壇にある方は、当日ご持参下さい。
- 後日まとめて浄火供養（焼却）いたします。

⚠️ **ご注意：7/14の「念仏の会」は休会です。**



“初盆”を迎える方

7月10日までにご連絡下さい!!

- 市内で特に希望される家にはお参り致します。また、正覚寺で行うことも出来ます。
- ご希望の方は7月10日までにご連絡下さい。その後、お参りする日時を決めて、お知らせ致します。
- 棚経法要(7/13)、施餓鬼会(8/15)には、回向袋の初盆に○印をつけてお参り下さい。

どうぞ
お参り下さい。

●お盆には駐車場があります●
係の方の指示に従って、例年の駐車場にとめて下さい。

感謝の気持ちで

せ が き え 施 餓 鬼 会

8月15日(金)

■ 朝9時から11時まで



食物をお供えする施餓鬼段

- 餓鬼道がきどうに落ちて苦しむ諸々の靈に食べ物を施すほうえ法会です。
- 施したその「功德くどく」で、極楽ごくらくに往かれた皆さまの大切な人やご先祖が、仏さまに成られることを祈念します。
- 併せて、お参りされた皆さまの身と心の健やかさを願う法要です。

⚠️ ご注意：8/1の「写経の会」、8/14の「念仏の会」は休会です。

✨ 参拝旅行に行きませんか?! ✨

京都・總本山「知恩院」と伊勢神宮

- 期 日：11月4日(火)～6日(木)の2泊3日
- 会 費：59,000円
- 締め切り：9月末日

- 10年近い歳月をかけて、解体修理中の知恩院国宝大殿の屋根に上がって、作業現場の見学も行う予定です。
- 知恩院に1泊して、ゆっくりと参詣、拝観出来ますので是非ご参加下さい。
- 詳しい旅程表は、すでに配布しておりますが、お盆の受付にも用意しておきます。



知恩院三門

感謝録

～いつも皆さまのご厚情に感謝しております～

「来迎図」掛軸 〈焼山〉小河内 俊雄さん

我々が臨終の時、極楽から迎えに来て下さる弥陀三尊を小河内さん自身が描かれたものです。

表座敷の床の間に掛けてありますので、どうぞご覧下さい。

金 〈宮原〉江口 泉さん
(五重相伝に参加した記念に)

金 〈吉浦〉今井 瑞栄さん
(ご主人のご逝去に際して)

江口さん、今井さんのご寄附は、「くぐり門」の改修費用に使わせて頂きました。



(中央) 阿弥陀仏
(左) 勢至菩薩 (右) 観音菩薩

「くぐり門」の改修!!

庫裡玄関脇のくぐり門が、柱の腐食とシロアリ被害で傾いておりました。この度、柱や焼杉の板を新しくしましたので玄関周りが少し明るくなりました。



(旧)



(新)

深夜の地震にびっくり!!

3月14日(金)の午前2時過ぎに伊予灘でM6.1の地震が発生し呉では震度5弱の揺れでした。大方の人が深い眠りの中であって驚かれた事と思います。家屋等の被害はありませんでしたか?

正覚寺でも、平成13年の芸予地震程の大きな被害ではありませんが、あちこちの壁面に亀裂が入るなど若干の損傷が発生しました。

芸予地震以降、地震保険に加入しておりましたので1,365,000円の保険金を頂きました。

また時期をみて、老朽化している他の所と併せて補修工事を行う予定です。



「浄土宗教師修練道場」満行のご報告

住職の長男「雷音」が去る3月17日、修練道場を無事満行いたしました。3日で3,000回の三千礼拝、昼夜不眠で行う不断念仏、真冬の京都での托鉢など、とても得がたい修行僧生活で今後の糧になると思います。



自己紹介

副住職

山 縣 雷 音



浄土宗僧侶となり佛教大学人文学科を卒業した後、浄土宗の大本山金戒光明寺（下記参照）にある修練道場で1年間の僧堂生活を終えました。

この春から副住職として正覚寺の法務に従事しながら更に勉強中、修行中です。これからもよろしく願いいたします。

参照

浄土宗には**1つの「総本山」**と**7つの「大本山」**があります。

総本山 知恩院（京都市東山区）

大本山 増上寺（東京都港区）
 大本山 善光寺大本願（長野県長野市）
 大本山 金戒光明寺（京都市左京区）
 大本山 知恩寺（京都市左京区）



大本山「金戒光明寺」

大本山 清浄華院（京都市上京区）
 大本山 善導寺（福岡県久留米市）
 大本山 光明寺（神奈川県鎌倉市）

■月命日と祥月命日のお参り

例えば、7月1日に亡くなられた方は、毎月1日を「月命日」、毎年7月1日を「祥月命日」といいます。

もしご希望があれば連絡して下さい。大切な方の命日にはご自宅へお参り致します。もちろん正覚寺へお参り下さっても結構です。

3回忌や7回忌などの年回法要以外でも、月命日あるいは祥月命日に心静かに手を合わせるの尊いことと思います。



■ 秋の法要ご案内 ～法話と回向～

あき ひ がん え
秋彼岸会

9月21日(日)

■ 朝10時より

じゅう や ほう よう
十夜法要
えい たい きょう く よう
永代経供養

11月16日(日)

■ 朝10時より

檀家会費について ○年会費／一口3,000円 ○受付／9月末日まで

本年もまた、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

あ と が き

- 修正会と新年互礼会が1月14日(火)に開催されました。例年、景品の当たるゲームや音楽を楽しんでいます。今年は、ジャズバンドの演奏でスタンダードナンバーや懐かしい童謡なども聴きました。
- 25人の方が奉仕して下さり6月1日(日)朝9時から大掃除を行いました。短時間ですっかり綺麗になった本堂で勤行(読経とお念仏)した後、ひと時の歓談を楽しみました。
- お盆の間、休会の「写経の会」と「念仏の会」は、9月から再開しますので、どうぞご参加ください。
- 住職が趣味で描いている絵のグループ展「互楽会展」は9月12日(金)から3日間、いつもの呉市文化ホール2階で開催します。まだまだ暑い時期ですが、どうぞお立ち寄り下さい。



発行所／〒737-0033 呉市寺本町 2-1 浄土宗 正覚寺
でんわ／0823-21-6086 FAX／0823-22-9922